

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 26-1-007  
補助事業名 平成26年度自転車競技の普及促進及び競技力向上に資する補助事業  
補助事業者名 一般財団法人 日本自転車普及協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

本体大会の開催により、国内自転車競技の普及促進を図る。

また、大会レベル（レースクラス2.1）の維持やさらなる人気の向上を図ることにより、国内におけるスポーツ文化の発展、国民の健全な心身の発達及び自転車市民権の確立（＝自転車文化の創出）を目的とする。

(2) 実施内容

富士山ステージ開催、東京ステージ開催、ツアー・オブ・ジャパン広報

[\(http://www.toj.co.jp/2014/\)](http://www.toj.co.jp/2014/)

国内で唯一の都府県（堺～東京間）をまたぐステージレースである、国際自転車競技連合（UCI）公認の自転車ロードレース「第17回ツアー・オブ・ジャパン」を開催した。

6ステージ全て公道を使用したコース設定であり、UCIのレースクラスが2.1にランクアップしたことにより、一般市民や国内外のマスコミからの注目度が高い大会となった。



子どもたちの声援に応えながら富士山ステージのスタートを待つ選手たち。



多くの観戦者がいる、東京ステージフィニッシュ地点を通過する選手。

(別紙5)

## 2 予想される事業実施効果

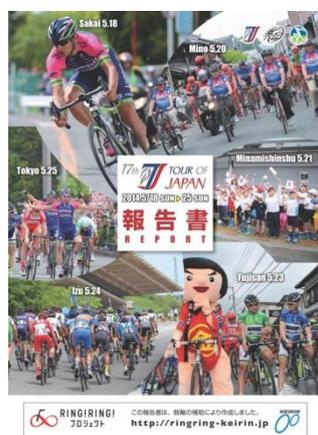
UCIレースクラス2.1になったことで、名実ともに日本最大のステージレースといえる本大会を通して、一般観客や国内選手への自転車競技のさらなる普及発展が見込まれる。今回、日本人選手の優勝がなかったことから、国内と海外での競技レベルの差が見受けられる。世界最高峰の「ツール・ド・フランス」や、来る2020年東京オリンピック・パラリンピックにおいて活躍のできる選手の育成が求められている。

「ツアー・オブ・ジャパン」は国内選手が世界の走りを体感し、競技レベルをアップするためにも非常に重要な大会であり、ここで活躍することで多くのマスコミから注目され、その結果、自転車ロードレースのみならず、自転車業界全体の発展に寄与するものである。また、全ステージ公道を利用することで、「自転車も車道を走る仲間」という認識を広く一般に周知することで、自転車の健全利用に繋がり、自転車文化の発展・創出を図ることが期待できる。

## 3 本事業に係る成果物

### (1) 補助事業により作成したもの

- ・ [TOJ報告書](#)



18/05/2014

- ・ [TOJテクニカルガイド](#)



**TECHNICAL  
GUIDEBOOK**

(別紙5)

- ・ T O J 告知チラシ (A4) 及び T O J ポスター (B2)



チラシ (表面)、ポスター



チラシ (裏面)

- ・ T O J プログラム



- ・ T O J 東京ステージ交通規制チラシ (B4)



